

シラバス（案）

2023/7/10

訓練大項目	訓練小項目	訓練内容	訓練のねらい	訓練時間			合計時間	備考	
洋上での一般的留意事項				参考 タイムテ ーブル	座学	休憩	240 分	4.00 時間	
					165 分	75 分			
	洋上での一般的留意事項	陸上とは違う洋上で作業にあたる際の一般的留意事項について学ぶ (1) 気象・海象 (2) 風 (3) 波・青波 (4) 風浪・うねり (5) 台風・津波 (6) 船体の動き (7) 「絶対に海に落ちない」という大原則 (8) 緊急時の体制 (9) 緊急避難ルート (10) 悪天候などによる洋上での待機 (11) 船内での秩序維持 (12) 感染症 (13) 船酔い (14) 海中への投棄 (15) 船上における作業中止基準 (16) 組織体制と指揮系統の把握 (17) 飲酒と喫煙 (18) スマートフォンや携帯電話	作業環境の違いを理解し、洋上特有の安全・衛生・環境に関する最低限の知識を得ることで労働災害を防ぎ、作業員の安全を守る。	9:00	40 分				
	HSE活動（安全衛生環境活動）	HSE活動の概念を学ぶ ◎HSE活動 ◎作業時のリスク及びハザード（危険予知活動） ◎Stop Work Authorityと作業許可システム	欧州の洋上風力発電事業においてスタンダードとなっているオイルアンドガス業界のマネジメントシステムであるHSEシステムについて、概要を理解する。	9:40	15 分				
	休憩時間			9:55		5 分			
	安全	乗船前に知っておくべき知識を学ぶ ◎乗船前の備え ◎携行品 ◎乗船前の安全説明 ◎個人用保護具（PPE）	乗船前に知っておくべき知識を学ぶことで、乗船前に各行動の意味について考え、理解を深める。	10:00	15 分				
		洋上作業に関する安全管理・安全行動について学ぶ ◎洋上での注意事項 ◎水密扉 ◎防火扉 ◎洋上における緊急時対応 ◎洋上現場における乗り移り時の留意事項 ◎パンチスルー	洋上特有の安全に関する留意事項を知ることで、作業時により具体的な安全行動を取れるようにする。	10:15	35 分				
	休憩時間			10:50		10 分			
	健康・衛生	◎船酔い ◎熱中症 ◎低体温症 について学ぶ	洋上特有の健康・衛生に関する留意事項を知ることで、作業時の衛生状態を維持することの重要性を理解する。	11:00	25 分				
	環境	油漏れ等海洋汚染予防について学ぶ	洋上特有の安全に関する留意事項を知ることで、作業時の環境への配慮の重要性を理解する。	11:25	10 分				
	チェックリスト	◎CTV乗船前（サンプル） ◎SEP船 乗船時（サンプル） ◎SEP船 作業前（サンプル） におけるチェック項目について学ぶ	チェックリストを活用することで、洋上作業を安全に行うために必要な情報を反復して復習し、知識の定着につなげる。	11:35	15 分				
	質疑応答			11:50	10 分				
	休憩時間（昼食）			12:00		60 分			
基本安全訓練				参考 タイムテ ーブル	座学	休憩	合計時間		
					200 分	25 分	225 分	3.75 時間	
	応急処置訓練	◎救急用具及びその設置場所について学ぶ ◎心肺蘇生法 ◎AEDの使用法 ◎止血方法 ◎包帯による外傷の手当 ◎三角巾の使い方 ◎打撲・骨折への対応 ◎傷病者管理 ◎搬送法 について学ぶ	現場ごとに救急用具の設置場所と種類を確認することで、緊急時に適切な対応を取れるようにする。 救命措置を訓練しておくことで、洋上の遠隔地で外部からの救援が遅れる場合においても適切な応急処置ができるようにする。	13:00	10 分			座学（会議室）	
				13:10	40 分				
	休憩時間			13:50		10 分			
	防火・消火	◎燃焼特性 ◎洋上火災・消火活動の特徴 ◎防火活動の基本 ◎煙・ガスの危険性 ◎消火設備の種類とその配置 ◎避難方法 について学ぶ	洋上施設での火災の特徴を知り、その危険性や防火・消火の知識、また適切な避難方法を学習することで、洋上の遠隔地で外部からの救援が遅れる場合においても適切な消火・防火対策ができるようにする。	14:00	50 分			座学（会議室）	
		休憩時間			14:50		10 分		
	落水防止及び落水時の対応	消火器の使用法について学ぶ ◎ライフジャケット（救命胴衣） ◎緊急時集合場所 ◎救命艇 ◎膨張式救命いかだと艀装品 ◎反転した救命いかだの修正 ◎シーアンカーの使用 ◎イマ-ジョンスーツの着用と使用 ◎遭難時に救助を求めるための無線装置 について学ぶ	消火器を使用した消火訓練を行うことで、緊急時に適切な対応を取れるようにする。 落水の危険性について理解し、救命用具の使い方を 知ること、万ー落水した場合や緊急時の退船時にパニックに陥らずに、命を守るための対応を取れるようにする。	15:00	20 分				
					15:20	40 分			
		休憩時間			16:00		5 分		
		◎高所から海中への安全な飛び込み ◎救命胴衣を着用しての浮遊 ◎救命胴衣を着用しないでの浮遊 ◎落水者発見時の対応 について学ぶ	落水の危険性について理解し、訓練水槽にて高所からの飛び込みを体験し、救命器具を実際に使用することで、万ー落水した場合にパニックに陥らずに、命を守るための対応を取れるようにする。	16:05	30 分				
	質疑応答			16:35	10 分				
事故事例集				参考 タイムテ ーブル	座学	休憩	合計時間		
					50 分	0 分	50 分	0.83 時間	
	事故事例集	◎事故事例について学ぶ	洋上作業で起こりやすい事故事例を知ることで、日頃の安全行動に役立てるとともに、小さな作業ミスやヒヤリハットを防ぐことの大切さを学ぶ。	16:45	40 分				
	質疑応答			17:25	10 分				
			合計訓練時間	17:35	415 分	100 分	515 分	8.58 時間	